


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



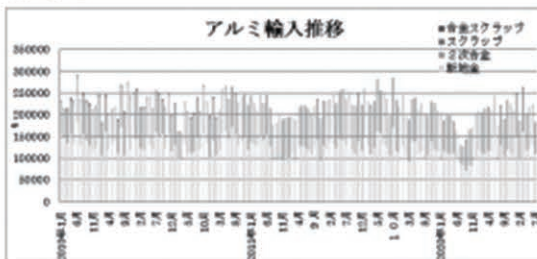
8月のアルミ概況および9月の見通し (3)

予想レンジ

LME現物後場買い2,200~2,500ドル ●
スクラップ 0~+5円(前月最終価格より) ●
為替 135円~145円 円安

(1か月間TTM)

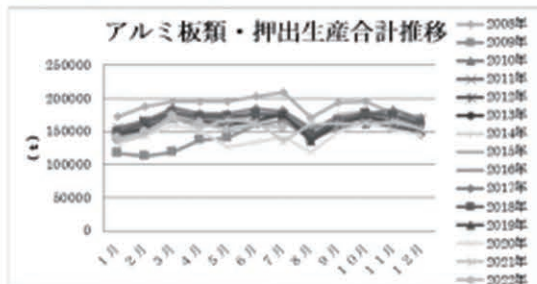
輸入推移



出典 財務省貿易統計

【アルミ圧延・押出品生産数】

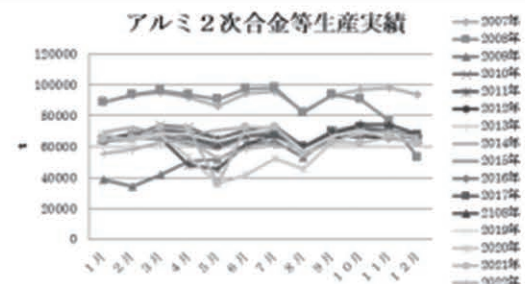
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-5.1%の15万6,014 tで4カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は、-15.5%の6万1,138 tで11カ月連続マイナス。出荷は、-14.6%の6万1,308 tで11カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム合金協会

■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると7月の自動車生産台数は前年比-4.5%の65万7,940台。輸出は前年同月比-5.1%の33万1,959台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると8月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-13.3%の17万9,075台。

内訳は乗用車が-13.1%、貨物が-20.2%、バスが-19.2%。

【住宅着工戸数】

7月の新設住宅着工は、貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比5.4%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.4%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は72,981戸。前年同月比 5.4%減、3か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は5,881千㎡。前年同月比 7.4%減、3か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では825千戸。前月比 2.4%減、先月の増加から再びの減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は、前年比-5.1%の15万6,014 tで4カ月連続マイナス。

板類は9万8,688 tの-3.6%で3か月連続マイナス。

押出類は5万7,326 tの-7.6%で7か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-15.5%の6万1,138 tで11カ月連続マイナス。

出荷は-14.6%の6万1,308 tで11カ月連続マイナス。

【輸出】

新地金は+11%の180 t。2次合金は-5.6%の2,108 t。スクラップ+32.4%の3万1,683 t。アルミ缶-32.4%の4,963 t。

【輸入】

新地金は-15.1%の11万1,172 t。二次合金は-8.3%の7万306 t。スクラップは+41.8%の431 t。合金スクラップは+14.1%の5,545 t。

【見通し】

【自動車】

7月の自動車生産が-4.5%。8月国内販売台数が前年比-5.1%。8カ月連続生産、販売共に大幅減少。

長引く世界的な半導体不足や新型コロナウイルスの感染拡大による影響や工場や一部仕入先での感染者発生、豪雨被害などによる部品供給遅延も影響しており来月も回復は難しい。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-5.1%の15万6,014 tで4カ月連続マイナス。

半導体不足による住宅着工や家電販売の減少で今後マイナスが続くかの動向に注視。

(次頁へ)

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-15.5%の6万1138tで11か月連続マイナス。出荷は-14.6%の6万1308tで11か月連続マイナス。半導体や自動車部品の不足、中国上海市でロックダウン(都市封鎖)があったことによる減産が響いた。新たに中国四川省成都(人口2100万人)のロックダウンが9月始まった事から減産が続くのではないかとアルミ輸出は自動車生産の減少や円安を受けて新地金スクラップが増加。

アルミ輸入は円安での割高感新地金二次合金が減少。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続き欧米の金融引き締め策からLME価格が2,400-2,500ドルと低位安定。自動車生産減の中入荷も少なそう。

需要面に関しては新たに中国四川省の成都がロックダウンサプライチェーンが不安定である事から自動車生産住宅着工も振るわないがメーカー在庫も底をつけて来ており在庫補充の買いはある。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米欧の金融政策 ②中国のコロナ対策(ロックダウン)の動向

①に関しては、米国に関して引き締め一辺倒であったFRBだがここにきて米金融当局による政策の引き締め度合いに関する織り込みが後退、9月に関しては若干利上げ幅が後退するのではないかと。

ECB(欧州)も8月のユーロ圏消費者物価指数(HICP)速報値は前年比上昇率が9.1%と、前月の8.9%から加速し、前月に続いて過去最高を更新した。市場予想(9.0%)も上回ったことから0.75%の利上げをするのではないかと。

②に関しては、9月1日に四川省成都市(人口約2,100万人)に新たに新たにロックダウンを行うと発表。延長するとともに、4日からの大規模コロナ検査の追加実施。

これらを踏まえた9月のアルミ価格は2,200-2,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は135円~139円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては、据置から+5円程度と予想している。

(「8月のアルミ概況および9月の見通し」おわり)



ペルー: Glencore Antapaccay社に対し協定に基づく支払いの前倒しを申請

2022年9月6日、Cusco州Espinar郡はGlencore Antapaccay社に対して、Espinar枠組協定に基づく第19回目の拠出金支払いの前倒しを依頼する申請書を送付した。

申請書はArenas郡知事兼Espinar枠組協定管理委員長によって署名されており、インフレ等を理由として2022年10月に同郡住民に配布する給付金2,000PEN(ソレス)の財源として本申請を行ったことが説明されている。



鉛滓・鉛管板屑

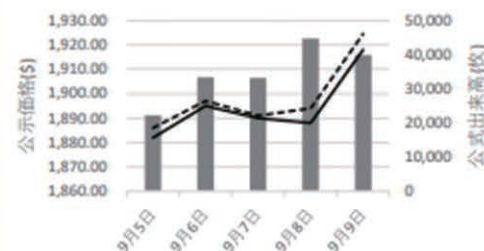
株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

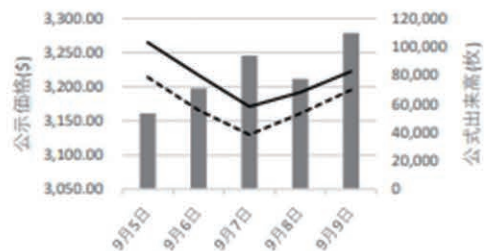
LME公式値週間推移 9月5日~9月9日(現地)

LME鉛



■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LME亜鉛SHG



■ 出来高 — 直物 - - - 先物